

2015年6月15日

衆議院憲法審査会 高知地方公聴会 @ホテル日航旭ロイヤル

岡田健一郎

(高知大学人文学部 社会経済学科)

「改正国民投票法等の施行を受けて、これからの憲法審査会に望むこと」

1、憲法審査会が直面している問題

国会法 102 条の 6

「日本国憲法及び日本国憲法に密接に関連する基本法制について広範かつ総合的に調査を行い、憲法改正原案、日本国憲法に係る改正の発議又は国民投票に関する法律案等を審査するため、各議院に憲法審査会を設ける」

2、憲法は、どのような「人間像」を想定しているのか？

(1) ジェームズ・マディソン (第4代アメリカ合衆国大統領) ……1788年

「万が一、人間が天使ででもあるというならば、政府などもとより必要としないであろう。またもし、天使が人間を統治するというならば、政府に対する外部からのものであれ、内部からのものであれ、抑制など必要とはしないであろう」(『ザ・フェデラリスト』、第51篇) [斎藤眞・中野勝郎訳、岩波文庫]

(2) トマス・ジェファーソン (第3代アメリカ合衆国大統領) ……1798年

「信頼は、どこでも専制の親である。自由な政府は信頼ではなく猜疑〔さいぎ〕にもとづいて建設される。……権力の問題においては、それゆえ、人に対する信頼に耳をかさず、憲法の鎖によって、非行を行わないように拘束する必要がある」(「ケンタッキー州議会決議」)

(3) 植木 枝盛……1877年

「人民にして政府を信ずれば、政府はこれに乗じ、これを信ずること厚ければ、益々これに付け込み、もしいかなる政府にても、良政府などいいてこれを信任し、これを疑うことなくこれを監督することなければ、必ず大いに付け込んでいかがのことをなすかも斗り難きなり。故に曰く、世に良政府なしと」(「世に良政府なる者なきの説」)〔家永三郎編『植木枝盛選集』岩波文庫〕

(4) 伊藤 博文……1888年

「抑〔そもそも〕憲法ヲ創設スルノ精神ハ、第一君権ヲ制限シ、第二臣民ノ権利ヲ保護スルニアリ」(枢密院における明治憲法案の審議)

(5) 吉田 茂……1946年

「従来近年の戦争は多く、自衛権の名に於て戦われたのであります。満州事変然り、大東亜戦争亦然りであります。……故に我国に於ては、如何なる名義を以てしても交戦権は先ず第一自ら進んで放棄する。放棄することによって全世界の平和の確立の基礎を成す。全世界の平和愛好国の先頭に立って、世界の平和確立に貢献する決意を先ず此の憲法に於て表明したいのであります」(衆議院における新憲法案の審議)

以上。